

2018
8/25
(土)

第2回三陸&東海防災フェスティバル IN仙台



防災・減災・復興のために
これからの「防災」について語り合う

参加無料
*
事前申込
不要

期 日 平成30年8月25日(土)10時~18時

場 所 東北学院大学土樋キャンパス
ホーイ記念館地階ホール(メイン会場)

- JR「仙台駅」から徒歩約20分
- 地下鉄南北線「五橋駅」または「愛宕橋駅」から徒歩約5分
- バス停「五橋駅」から徒歩約5分



皆様のご参加を
お待ちしております!

詳細は裏面を
ご覧ください

主催/三陸&東海防災フェスティバル「伝」実行委員会
東北学院大学災害ボランティアステーション
尚綱学院大学ボランティアステーション
復興大学災害ボランティアステーション

後援/宮城県、仙台市、名取市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、
名取市教育委員会、気仙沼観光コンベンション協会、
石巻地元工務店協同組合、星のまち仙台防災教育研究会
協力/いけばな嵯峨御流佐々木秀甫社中、いけばな草月流丹野霞園社中、
宮城のうたごえ協議会

第1部

10:00～11:10

開会宣言／主催者あいさつ

基調講演 (メイン会場のホール)

テーマ：防災を学ぶということの意味



松本 大 氏 (弘前大学教育学部准教授、専門：社会教育・生涯学習)

私たちの日常の暮らしにおいて、そもそも震災や防災について学ぶ機会は十分にあるでしょうか。例えば、震災や防災を十分に学んできていない若者がいるという現実があります。そういう現実をみたと、震災や防災について学び、伝えるとは一体どういうことを意味するのでしょうか。「震災や防災を学ぶ」ということ、そしてそれが「暮らしに根づく」ということ。この両面について、教育学を専門とする立場から話をします。

11:10～12:00

ポスターセッション (ホール外のエントランス)

出展予定：石巻地元工務店協同組合スタッフ(復興住宅担当)、石巻市立広瀨小学校、星のまち仙台防災教育研究会(仙台市立北六番丁小学校区地域連携の取組)、減災チーム・トイレの備え(愛知県碧南市)、まるオフィス(気仙沼市)、名古屋学院大学、尚綱学院大学、東北学院大学



12:00～13:00

休憩

第2部

13:00～13:15

合唱 (メイン会場のホール)

テーマ：被災地宮城から震災をうたう

曲名「ひまわりに希望たくして」「夢と希望の絆(わ)」「わせねでや」

ピアノ：小林康浩 合唱：宮城のうたごえ

13:15～14:45

パネルディスカッション

テーマ：これからの防災を考える

○パネリスト



古橋 信彦 氏

(NPO 法人 SONAE 防災研究所 所長)
仙台市在住 元仙台市内小学校長
元仙台市社会福祉協議会太白区事務長
HUG-S(避難所運営ゲーム仙台版)を作製し
避難所運営について全国で講演多数。



我妻 諭 氏

(宮城県名取市副市長)
東日本大震災時、名取市災害ボランティア
センター事務局長として、ボランティアセン
ターを開設し、復興支援を行う。平成 29 年
より、現職。



長谷川 高士 氏

(減災チーム・トイレの備え 代表)
愛知県碧南市在住。水を使わないトイレ(携帯
トイレ)のトレーニングを提唱。
自治体や企業、自主防災会などが主体で開催
できるようにサポートを実施。



田中 重好 氏

(尚綱学院大学特任教授)
専門は地域社会学・災害社会学。日本社会学
会理事、地域社会学会監事、地区防災計画学
会幹事等を歴任。今春、名古屋大学より尚綱
学院大学へ着任。大学と地域復興を語る。

○ファシリテーター



千葉 久美子 氏

(仙台市立北六番丁小学校研究主任・元防災主任)
東日本大震災直後に北六番丁小学校に赴任。
平成24年度に仙台市教育委員会から「新たな学
校防災教育モデル校指定を受け、以来「地域と連
携した防災教育」を展開。防災教育のカリキュラム
マネジメントを研究している。

14:45～15:00

休憩

第3部

15:00～16:00

語り部 (メイン会場のホール)

気仙沼観光コンベンション協会 語り部 尾形 幹男氏のお話

16:15～17:45

ワークショップ・Round Study (2階教室)

ファシリテーター：市川 真基(愛知県蒲郡市教員)

17:45～18:00

閉会行事／閉会宣言 (メイン会場のホール)

気仙沼市の
被災状況や復興について、
共に学びましょう！



子どもから大人まで
グループで話し合おう

お問い
合わせ先

東北学院大学災害ボランティアステーション
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目 3-1
TEL:022-264-6521 FAX:022-264-6522 E-mail:revolu@mail.tohoku-gakuin.ac.jp